

ブドウ「シャインマスカット」では満開後の フラスター液剤散布でも新梢伸長が抑制できる

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－ブドウ－生育調節

2 担当者名

遠藤敦史

3 要旨

ブドウの枝葉は繁茂しやすく、受光条件改善のための新梢管理に多くの作業時間を要することが課題である。現在、本県では「シャインマスカット」の新梢伸長抑制を目的に、メピコートクロリド液剤（商品名：フラスター液剤）を新梢展開葉7～11枚時（開花始期まで）に使用することを勧めているが、この時期に散布できなかった場合は、満開10～20日後（但し、収穫60日前まで）に500倍液を10a当たり150L散布することでも有効である。

- 「シャインマスカット」新梢摘心後の副梢は、フラスター液剤（500倍液、150L/10a）の散布により伸長が抑制され、特に満開10日後処理区で効果が高かった（図1）。また、副梢摘心後の再伸長は満開10日後処理区、満開20日後処理区ともに抑制された（図2）。
- 「シャインマスカット」の新梢管理時間は無処理区に比べて、満開10日後処理区で約4割、満開20日後処理区で約3割削減された（表1）。
- 本使用法による果実品質は無処理区と差がなかった（データ省略）。

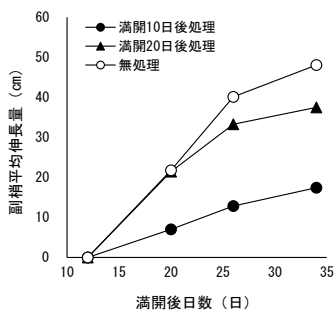


図1 「シャインマスカット」新梢摘心後の副梢長に対するフラスター液剤(500倍液)の影響 (2020年)

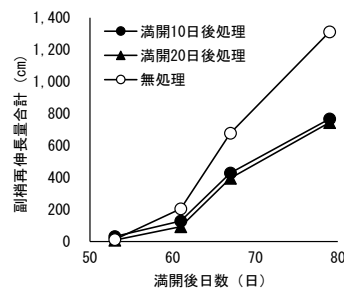


図2 「シャインマスカット」副梢摘心後の再伸長に対するフラスター液剤(500倍液)の影響 (2020年)

表1 「シャインマスカット」の新梢管理時間に及ぼすフラスター液剤の影響 (2020年)

処理区 (各500倍液)	作業時間 (10a換算)	削減率(%) (対無処理)
満開10日後	38時間40分	38
満開20日後	46時間 4分	26
無処理	62時間26分	—

注 7月23日、9月7日の新梢管理時に主枝の片側5mで計測した作業時間から10a当たりに換算

4 成果を得た課題名

- 研究期間 平成27～令和2年度
- 研究課題名 果樹新品種及び一般品種の栽培特性等調査

5 主な参考文献・資料

なし